

「よりよい舞鶴」について語りませんか？

「市民と議会のわがまちトーク」参加者募集

市民の皆さんと市議会議員で6人程度のグループをつくり、ワークショップ形式で意見交換し、参加者同士で話し合う「市民と議会のわがまちトーク」を開催。出た意見などは、再度議会で議論や調査をし、市政への反映に向けて検討していきます。

【申し込み方法】

7月19日(金)までに、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望のテーマを市議会ホームページの

意見交換のテーマなど

テーマ	開催日	会場
障害者支援について	8月3日(土) 10時～11時30分	商工観光センター
東西市街地の浸水対策	8月3日(土) 13時30分～15時	商工観光センター
自主防災力の向上について	8月4日(日) 10時～11時30分	西駅交流センター
これからの自治会活動とは？	8月4日(日) 13時30分～15時	西駅交流センター

※公募する人数は各テーマ6、7人。先着順。

申し込みフォーム(下記)からアクセス可。メールアドレス、ファクス、はがきで議会事務局へ。

平成30年度の運用実績まとめ

情報公開・個人情報保護制度の平成30年度運用実績がまとまりました。

- ◆**情報公開制度** 行政文書の開示請求件数は23件(29年度29件)。実施機関別では、市長が13件、消防が2件、病院事業が1件、上下水道事業が5件、選挙管理委員会が2件。請求に対する決定は、全部開示が11件、部分開示が11件、不存在が1件。なお、部分開示などに対する審査請求はありませんでした。
- ◆**全部開示** 普通会計決算状況(財政課) ◆**選挙運動費用収支報告書**(選挙管理委員会) ほか
- ◆**部分開示**(個人情報などを除き開

詳しくは、議会事務局(☎66・1060、FAX 62・7666)へ。



市民病院職員を募集

市民病院の看護師・理学療法士作業療法士を募集。

【日時】個別に調整
【受け付け期間】採用予定者が決定するまで。受け付けは8時30分～17時15分。

※土・日曜日、祝日は除く
【申し込み方法】申込書(市民病

職種	採用予定者数	受験資格
看護師	3人	昭和49年4月2日以降に生まれた人で、看護師資格を有する人または資格取得見込の人
理学療法士	1人	昭和49年4月2日以降に生まれた人で、理学療法士資格を有する人または資格取得見込の人
作業療法士	1人	昭和49年4月2日以降に生まれた人で、作業療法士資格を有する人または資格取得見込の人

待遇など(金額はいずれも大卒)

基本給	看護師	210,900円
	理学・作業療法士	186,900円

例…1年目、夜勤4回(2交替) 月額：看護師 251,704円(平成31年4月1日現在)
◆職歴等を反映 ◆別途諸手当支給あり

《市政情報コーナー》の利用を

市政情報コーナー(市役所本館1階ロビー)では、市政に関する計画書や報告書、パンフレットなどを自由に閲覧できます(コ

ピー可。有料)。また、行政文書や自己情報の開示請求などの相談も受け付けています。
▼詳しくは、総務課(☎66・1044)へ。

平成30年7月豪雨災害から1年

避難勧告等は警戒レベルでお知らせ

全国に大きな被害をもたらした平成30年7月豪雨からもうすぐ1年。避難勧告・指示(緊急)の発表を受けても避難行動を取った人が少なかつたことから、国で見直しが行われ、警戒レベル表示で避難情報を発表することになりました(左図)。

くの避難所等へ避難してください。◆**レベル3**…避難に時間を要する「高齢者等避難」◆**レベル4**…「全員避難」◆**旧村や川単位で発表** 警戒レベルの対象地域は、状況により市内全域を対象とするこ

警戒レベル(※1)	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況。命を守るための最善の行動を。	災害発生情報(市町村が発表)(※2)
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先への避難を。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告・避難指示(緊急)(市町村が発表)(※3)
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間がかかる人(高齢の方、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難を。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始(市町村が発表)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報・大雨注意報等(気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(気象庁が発表)

※1…各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※2…災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発表
※3…地域の状況に応じて緊急にか重ねて避難を促す場合などに発表

市からのお知らせ例

【警戒レベル4】
緊急放送、緊急放送、■■■地区に警戒レベル4 全員避難

■■■地区の土砂災害の危険性が非常に高くなったため、■■■地区に土砂災害に関する警戒レベル4、避難勧告を発表しました。
住民の皆さんは、最寄りの安全な場所や、斜面から反対側、2階以上の高いところへ避難してください。

【警戒レベル3】
●●による大雨に伴い、○時○分、■■■地区に警戒レベル3、避難準備・高齢者等避難開始を発表しました。
■■■地区の高齢の方など避難に時間がかかる人、過去に災害にあったことのある地域の人は避難を開始してください。その他の人は避難の準備をしてください。

熱中症に負けないために

こまめな休憩、適度な水分・塩分補給を

熱中症の症状は、体温上昇やめまい、体のだるさなど軽症なものから、頭痛や吐き気・嘔吐など入院を必要とする中等症までさまざま。ひどい時にはけいれんや意識障害を起すなど、重症化し死亡することもあります。周りでのそのような症状の人を見つけた場合は、すぐに救急車を呼んでください。

◆**室内**ではエアコンを使い適度な温度設定(28℃以下)にして過ごす◆**スポーツ**ドリンクなど適度な塩分補給と通気性の良い服装を心がける

◆熱中症かなと思ったら

- ◆**涼しい環境へ避難**：風通しの良い日陰やクーラーの効いている室内などに移動
- ◆**脱衣**：衣服を脱いだり、ベルトやネクタイ、下着を緩めたりして風通しを良くする
- ◆**冷却**：冷やしたペットボトルや氷で首、脇の下、足の付け根などを冷やす。濡らしたタオルやハンカチを皮膚にあて、うちわや扇風機であおぐ
- ◆**自力**で水分補給ができない場合や症状が改善しない場合は、医療機関を受診してください



また、高齢になると暑さを感じにくくなり、発汗が遅れます。もともと体内の水分量が少なく、喉の渇きを感じにくいため脱水症になりやすく、特に注意が必要です。さらに、乳幼児は体温調整機能が十分に発達していないため、熱中症のリスクが高くなります。自身の感覚ではなく、室内の温度計や熱中症予防情報サイトで公開する「暑さ指数」などを参考に、予防行動を取りましょう。

◆熱中症を予防する行動

◆**日頃から**バランスのとれた食事を取り、こまめな休憩と水分補給を行う◆**環境**省のホームページなどで暑さ指数を確認し、リスクの高い日には外出を控える

《健康》へり課